



<教育目標>

あたたかい心 ゆたかな知性 たくましい身体

高き希望に（第五中学校だより）

平成 30 年 10 月 2 日発行

No. 8 校長 矢口 仁

今を大切に

－0.01 秒の差－

校長 矢口 仁

今が最も 大事です

相田みつを



先月 27 日に、中野区総合体育大会の陸上競技が行われました。当日はあいにくの空模様でした。しかし、生徒たちは、全力を出し切りました。学校の代表生徒として、競技も応援も立派な態度だったことを誇りに思います。

日本の陸上界、男子 100m では、山縣亮太選手が 8 月のアジア大会で 10 秒 00、9 月の全日本実業団対抗選手権で 10 秒 01 と、あとわずか日本人二人目の 9 秒台走者になるところまでできています。しかし、100 分の 1 秒の壁が目の前にあります。

偶然のことなのですが、9 月末に新聞に中学生の次のような投書がありました。

一瞬の大切さ 陸上から学ぶ

江戸川区 中学生（13 歳）

中学生になって陸上部に入り、陸上競技を始めた。陸上、特に私がやっている短距離走は一瞬一瞬が大切だということを私に教えてくれた。

たった、0.01 秒の差で短距離走の勝負は決まる。時間の大切さを大いに実感できて、たくさんの学びを与えてくれるスポーツだと思う。

私は小さい頃から「この時間はもう二度と戻ってこない。」と母に教えられてきた。その通りだと、今は自信をもって言える。「今」というこの時は、自分の一生の中の一瞬だ。たとえ、それがどんなに小さい数字でも同じなのだ。そのことを、短距離走を通じて学ぶことができた。

これからも 0.1 秒、0.01 秒の大切さを感じながら、日々の生活を送っていきたい。

今回の中野区陸上競技大会、2 年女子 100m の部で、5 位と 6 位の差が 0.005 秒とということがありました。「一瞬」の大切さを痛烈に学んだことでしょう。

さて、10 月 17 日には「文化発表会」がなかの ZERO ホールで行われます。午前の部は演劇部、吹奏楽部の発表、午後の部は合唱コンクールです。合唱の練習が、朝や放課後に始まりました。日に日に歌声が研ぎ澄まされています。部活動は、放課後や休日に、熱心に練習を繰り返しています。

その練習の一瞬一瞬を大切にしてほしいと思います。今のメンバーで、同じ空間・時間の中で歌ったり、演奏したり、表現したりすることは、今しかできないのです。

今という時間の大切さを思い、毎日の練習の中で、できることを精一杯やりとげ、悔いのない合唱・音楽・演劇を創りあげてほしいと心から願っています。